

集めてみました世界の



久保 正敏 民博 名誉教授

現在、世界経済で流通するのは、金など貴重物と交換できる「本位貨幣」ではなく、信用に基づく「信用貨幣」だが、変動相場制の今日、為替市場で取引されるモノであり、いつ信用が崩れるかわからない。他方、原始経済では、入手や加工が困難な素材ゆえに価値のある、貝、石、クジラの歯、べっ甲、布、羽毛など実物貨幣が使われてきた。儀礼的な使われ方も多く、光り輝くモノなら聖性も帯びる。

おもに婚資として使われる儀礼的貨幣には、希少性や権威などの裏付けがあり、各国で流通する通貨よりよほど信用できそうだ。TPOに依存する儀礼的貨幣と同様に、近代国家成立以前は流通が地域限定の「地域通貨」が一般的で、江戸時代の藩札もその一種。

これら民族学資料としての貨幣を見るなかから、わたしたちが経済生活の基盤としている「信用」の危うさに思いをめぐらしてはいかがだろう。

※寸法の単位はセンチメートルです。

リベリア

金属製貨幣、儀礼的貨幣  
花婿側親族から花嫁側親族への婚資、あるいは争いの調停や代償である。  
H9.3 x W21 x D21  
H0030929



カメルーン

装飾用銀貨、マリア・テレジア・コイン  
表面にオーストリア・ハプスブルク家の女王マリア・テレジア（在位 1740～1780年）と1780年の銘が刻まれ、裏面には同家の紋章である双頭の鷲が描かれている。紅海周辺地域で異様に人気が高まり、第一次世界大戦後にオーストリア政府が鑄造権をイタリアなど他国に譲った後も、各地でまったく同じデザインのまま1980年ごろまで発行され、周辺地域で流通し続けた有名なコイン。子宝に恵まれた同女王にあやかる安産のお守り、聖母と同名の点から女性の象徴、など人気の理由には諸説があり、装飾用としても多用された。  
H4.1 x W4.1 x D0.2 ほか  
H0006511



日本（熊本）

藩札のレプリカ  
熊本藩では、享保年間（1716～36年）に飢饉が続き、熊本藩の財政が危機に陥ったため享保17年（1732年）に幕府の許可を得て藩札が発行され、以後幾度も発行されたらしい。民博は各値がそろったレプリカ・セットを所蔵している。この元貨幣は銀一匁（もんめ）と交換できる兌換（だかん）紙幣だが、当時の庶民はそれほど信用していなかったらしい。  
H17 x W4.9  
H0097992



ミクロネシア 石貨、儀礼的貨幣  
ヤップ島のもの。花嫁の父から花嫁に贈る婚資で、結晶状方解岩を切り出して作ったもの。花婿側からの婚資は貝貨で、なかでも白蝶貝製が珍重された。オセアニア展示場にて公開中。  
H127 x W120 x D18  
H0010156

日本 玩具紙幣

2012年度末に大阪府から民博に寄贈された、著名な玩具コレクターが収集した「時代玩具コレクション」のひとつ。1883～1897年に製作されたもの。  
H6.5 x W10.7 ほか  
ままごと遊びと水物玩具-53 (仮)



アメリカ合衆国

冥界銀行通貨  
アメリカ華人の家庭において先祖崇拜の際に、先祖への供養として燃やして送る紙銭。中国地域の文化展示場にて公開中。  
H17 x W34 x D1.7  
H0269074

グアテマラ

装飾用コイン  
ケクチの女性が用いる首飾りで、5セントポ硬貨70枚が鎖でつながれ、先端にシカの飾りが付けられたもの。コイン表面には、発行年を示す1924～1945の刻印と国鳥であるケツァールが描かれ、この鳥の名前がグアテマラの通貨単位である。補助通貨の1セントポ=1/100 ケツァール。  
H0.7 x W1.8 x D51  
H0192775



ソロモン諸島 羽毛貨、儀礼的貨幣  
ミツスイという赤い小鳥の羽根を樹皮の表面にはりつけてコイル状にした婚資。200羽もの鳥が必要で、男性はこれがないと嫁を迎えられない。オセアニア展示場にて公開中。  
H0086151

ボリビア 祭礼用玩具紙幣

アラシタの祭のとき、エケコ人形にもたせる紙幣のミニチュア。アラシタの祭では、エケコ人形とよばれる人形に自分が手に入れたい物のミニチュアをもたせ、教会で祈とうを施し、家にもち帰る。  
H8.3 x W5.6 x D5.6  
H0187199

